

◇品詞の勉強はこれでラスト！「助動詞(じょどうし)」と「助詞(じょし)」。

「助動詞」と「助詞」。この2つは、「**付属語**(ふぞくご)」と呼ばれます。

一方、No. 1~No. 7までのプリントで学習した品詞(名詞、動詞、形容詞、形容動詞、連体詞、副詞)、さらに接続詞、感動詞、これらの8つの品詞は「**自立語**(じりつご)」と呼ばれます。

助動詞と助詞、の前に、まずは「自立語」と「付属語」についての勉強から… φ(^o^)

◇「**文節**(ぶんせつ)」を作ることができるのが、自立語。

↳ 「文節」は、日本語の文を「ね」で区切っていった時にできるまとまり。

※「文節」については、詳しくはまた別に学んで、練習してみてね！

例) 次の日の朝、その男はさっそく新聞を買いに行った。

→ 次の_ね日の_ね朝_ね、その_ね男_ねは_ねさっそく_ね新聞_ねを_ね買い_ねに_ね行_ねった_ね。

→ 次の | 日の | 朝、 | その | 男は | さっそく | 新聞を | 買いに | 行_ねった。

★ ★ ☆ ☆ ★ ☆ ★ ★ ★

↓

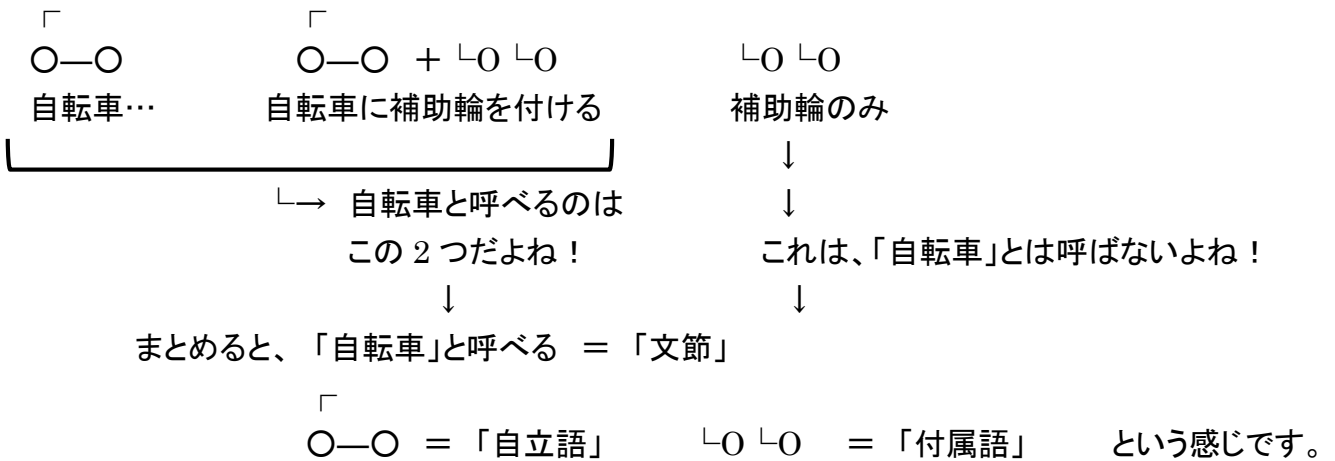
★ は 自立語(この文では名詞または動詞) + 付属語(助動詞または助詞)] で、「文節」が
 ☆ は 自立語のみ(この文では名詞、連体詞、副詞)] できています。

つまり…

↳ 自立語は、自分だけで、あるいは 自分+付属語 という形で、「文節」になれるの。

付属語は、自分だけでは文節になれません。自立語にくっつかないと、文節になれない。

例えて言うなら…



(^▽^)< 自立語 と 付属語、何となくイメージがつかめたかな…

このプリントで学ぶ「助動詞」と「助詞」は、ㄥ〇 ㄥ〇 自転車に付ける補助輪のような「付属語」なので、

「
○—○ 自転車、つまり「自立語」にくっついた状態じゃないと、文節になることはできないのです！

補助輪は、ㄥ〇 ㄥ〇 これだけで使うことはないもんね…

自転車本体(=自立語)にくっつけてこそ、役に立つ！ それが補助輪=付属語！なのでφ(^o^)

おまけ情報… → 実際の自転車は、補助輪を2組(つまり4つ)以上付けて使うことはないけど、国語の文法では、

動か なかつ た。のように、 「
自 付 付 ○—○ ㄥ〇 ㄥ〇 ㄥ〇 ㄥ〇 1つの自転車に補助輪を2組以上付けることもあるんだよ(°▽°)

◇助動詞と助詞は、どちらも「付属語」。

《例えば、こういう単語が助動詞。》

～た 例) 動いた 動かなかった 冷たかった 読んだ ←「～だ」という姿になる時もあり。

～ない 例) 動かない 動かなかった 冷たくない 冷たくなかった

～れる(られる) 例) ほめられる 笑われる 怒られた 食べられなかった

《例えば、こういう単語が助詞。》

～と ～が① ～の ～を 例) 君と彼女が①社長の机を運んでくれ。

～が② ～だけ ～など ～な 例) これは難しいが②、君だけは「あきらめる」などと言うな。



～が① と ～が② は別々の助詞だよ！ 意味(役割)が違うよね(^o^)b



さて… 助動詞 と 助詞 の 違い、わかるかな？

ヒント:

例えば、助動詞「～ない」は、上の例を見ると、「ない」の他に「なかつ」という形にもなっているね。

助詞はどうか？ 例えば、「～だけ」という助詞は、「だか」とか「だこ」とかのように形が変わるかな？

(^▽^)< 「君だかは」？ 「君だこは」？

さあ！ 「活用」という言葉を使って説明してみよう！ >(・▽・)

()

…そうそう！ 助動詞は活用が()！ 助詞は活用が()！ んだよね♪

教科書の「文法(品詞)」のページではどんなふうに説明されているかな？ ぜひ見てみてね(^o^)b

◇ということはつまり、助動詞には「活用表」があるということ！

例) ↓○○形、△△形、という「活用形」の種類は、用言(動詞・形容詞・形容動詞)の時と同じだね。

		未然形	連用形	終止形	連体形	假定形	命令形
ない	打消	なかる	なかつ なく	ない	ない	なけれ	○

└ それぞれの助動詞がどんな「意味」を表すか、が載っているよ。

「○」は「からっぽ」のしるし！ ─
「ない」という助動詞は、命令形が無いんだね。

◇そして、助詞には「種類」があるよ。

- ・格助詞(かくじょし)
- ・副助詞(ふくじょし)
- ・接続助詞(せつぞくじょし)
- ・終助詞(しゅうじょし)

中学校の教科書では、おそらくこの 4 種類に分けられていると思います。それぞれどんなグループか、どんな助詞があるか、確認してみてね。

└ また、「並立(へいりつ)」「累加(るいか)」「順接(じゅんせつ)」「逆接(ぎゃくせつ)」など、それぞれの助詞の表す「意味」も載っていると思います。

どんな意味なのかは、「例文」を見てみると、何となくイメージがつかめるのではないかな(・▽・)

★ 自立語と付属語、助動詞と助詞、つかめてきたら、教科書や問題集の練習問題にぜひ挑戦してね(≧▽≦) ★